

## 6. 3つの柱（行動指針③） 自然豊かな円山エリアの中核施設としての行動

円山エリアには、住民約4万人が居住する円山・宮の森・円山西町地区の住宅街をはじめ円山公園、円山原始林、北海道神宮、円山球場、大倉山シャンツェ、彫刻美術館など多くの人が集う施設が集積している。この豊かな自然と都会との中間地点にある利点を生かして、エリア内での回遊性を高め相乗効果を生み出すとともに、まちづくりの観点からも地域と連携した取り組みを行う。

### <計画概要>

#### (1) 円山エリアの総合的な交通対策の検討

動物園周辺には、円山公園、円山球場、陸上運動競技場などがあり、花見などの行楽時期や各施設のイベント時などは道路の渋滞や駐車場の混雑を招いているため、ピーク時の渋滞緩和や地下鉄から動物園までのアクセス整備や歩行者天国、周遊バス・タクシー等の新たな交通手段の確保等を検討する。(22年度～)

#### (2) 円山川の自然を取り戻すための取り組み

園内を流れる円山川に生息するニホンザリガニの保護繁殖に取り組むとともに、円山川そのものの水質を回復させ、動物園内のビオトープとの一体化を図る河川改修に取り組む。上流における不法投棄の防止や生活排水の抑制など市民参加によりまちづくりの一環として取り組む。(19年度～)

#### (3) 円山エリアの総合的な自然エネルギー活用の検討

自然エネルギーの利用にあたっては、円山動物園単独だけではなく、周辺施設を含めて、まとまった規模で導入することにより、より多くの環境負荷軽減の効果が期待できることから、関係部局等と連携し自然エネルギー活用の検討を行う。(22年度～)

#### (4) 円山エリア活性化のための街歩きイベントの実施

円山動物園を核として、円山エリアのさまざまなレストランやカフェ、雑貨店などを結ぶ街歩きのイベントを民間企業と地元商店街及び参加店の協力により開催し、円山エリア全体の活性化を行う。(19年度～)

#### (5) 地元地域への感謝イベントの実施

円山動物園の再生には地元である地域の理解と協力が欠かせないため、日頃の感謝をこめて「円山地区」「南円山地区」「宮の森地区」の住民を対象に無料入園券を配布し、園内で園長の特別講演を開催する。(19年度～)

**(6) 大倉山シャンツェ・彫刻美術館との連携**

円山動物園・大倉山シャンツェ・彫刻美術館はいずれも市民の教育文化施設、観光施設であり、地理的にも非常に近いことから、これら 3 施設が連携し一体となって集客を行うため、「3 園館長会議」を設置しその方策を検討する。(18 年度～)

**(7) エリア周遊イベントへの積極的な参画**

札幌市内を周遊する街歩きイベントや旅行商品に積極的に参画することにより、円山動物園の集客に結びつけるとともに、円山エリア内の集客に貢献する。(18 年度～)

項目名	役割	行動指針	実施時期
円山エリアの総合的な交通対策の検討	-	3	22年度

概要

円山動物園の来園者の65%が自家用車で来園しているが、動物園周辺には、円山公園、円山球場、陸上運動競技場などがあり、花見などの行楽時期や各施設のイベント時などは、道路の渋滞や駐車場の混雑を招いている。この対策としては、単施設だけでは解決できないことから、円山エリアについて、総合的な交通対策を実施する必要がある。

具体的には、ピーク時の渋滞緩和や公共交通の利用促進のため、地下鉄から動物園までのアクセス整備や歩行者天国、周遊バス・タクシー等の新たな交通手段の確保等の検討を行っていく。

スケジュール

当面、公共交通の利用促進のため、地下鉄から動物園までの間のアクセス整備等(歩道・サイン整備)等を実施する。

2007年度(平成19年度)

関係部局にて、検討会議の実施(道路・河川・公園所管課など)

2008年度(平成20年度)

調査及び基本計画(概要設計)実施予定、まちづくり交付金整備計画申請予定

2009年度(平成21年度)以降

基本・実施設計及び工事実施予定

参考図表等



GW中の駐車場入場待ちの例



歩道整備イメージ図

項目名	役割	行動指針	実施時期
円山川の自然を取り戻すための取り組み	2	3	19年度

概要

北海道の生物多様性確保の基地となることを目指し「北海道の野生動物復元プロジェクト」の一環として、園内を流れる円山川に生息するニホンザリガニの保護繁殖に取り組むとともに、円山川そのものの水質を回復させ、動物園内のビオトープとの一体化を図る河川改修に取り組む。  
 取り組みにあたっては、上流における不法投棄の防止や生活排水の抑制など札幌市民、地域住民の協力が必要なことから、取り組みの重要性をアピールしながら市民参加によりまちづくりの一環として取り組む。  
 最終的には、昔の札幌の原風景を取り戻し、親子でザリガニ観察ができるようになることを目指し実施していく。

<取組内容>

- ・ニホンザリガニの生息調査
- ・ビオトープの整備と河川改修
- ・地域住民による河川清掃などの運動展開
- ・ニホンザリガニの繁殖・放流

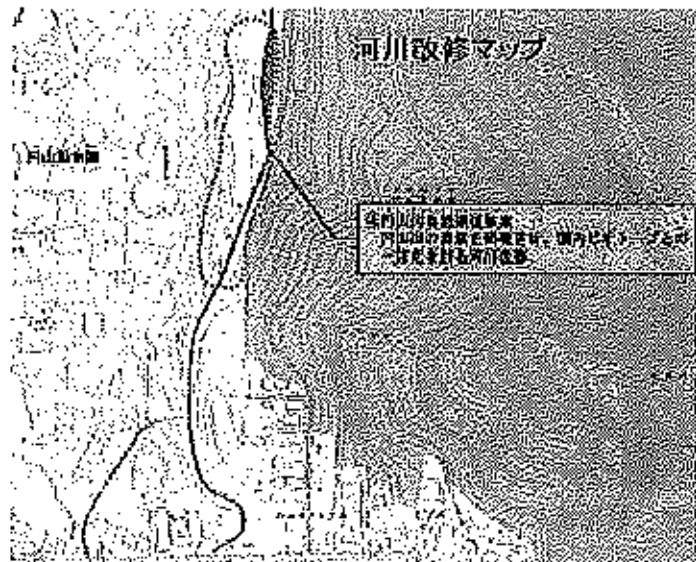
スケジュール

- 19年度 円山川（園内調査区域）における生息数調査
- 20年度 水質調査、汚染物質流入調査、不法投棄状況調査、運動展開  
 ザリガニの展示、ザリガニの個体採取・繁殖計画の策定
- 21～23年度 飼育個体の増殖
- 24年度 繁殖個体の放流（毎年継続）、河川改修設計
- 25年度 河川の自然改修工事

参考図表等



年々生息数が減少するニホンザリガニ



項目名	役割	行動指針	実施時期
円山エリアの総合的な自然エネルギー活用の検討	-	3	22年度

**概要**

地球温暖化などの環境問題や限りある資源の有効利用のため、今後、ますます自然エネルギーの導入が必要とされている。いろいろな自然エネルギーの利用を検討するにあたっては、円山動物園単独だけではなく、周辺施設を含めて、まとまった規模で導入することにより、より多くの環境負荷軽減の効果が期待できることから、関係部局等と連携し自然エネルギー活用の検討を行う。

**スケジュール**

2007年度(平成19年度)

次世代エネルギーパーク構想策定(環境都市推進部)

有識者の意見を聞きながら、太陽光発電や太陽熱、蓄冷熱、地中熱ヒートポンプ、バイオマスなどの自然エネルギーの導入について検討

2008年度(平成20年度)以降

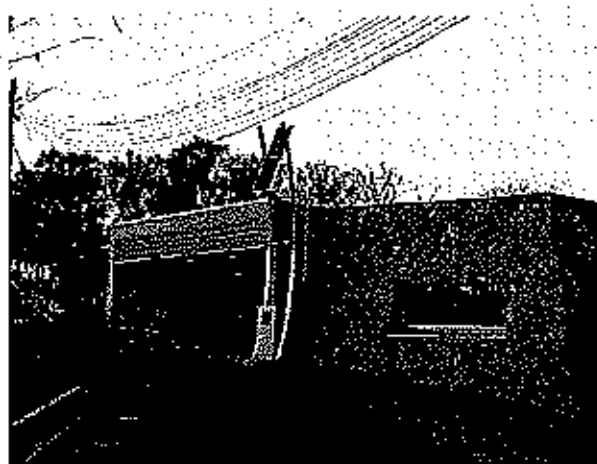
次世代エネルギーパーク構想に基づき、実際の導入方法、導入時期等について検討を行う。

その際には、周辺施設での導入の可否についても、協議・検討を行っていく。

**参考図表等**



動物科学館に設置している太陽光発電(出力5kw)  
(特定非営利活動法人 ひまわり種の会設置・所有)



サル山展望レストハウスに設置している  
風力と太陽光発電設備

項目名	役割	行動指針	実施時期
円山エリア活性化のための街歩きイベントの実施	-	3	19年度

## 概要

円山動物園を核として、円山エリアのさまざまなレストランやカフェ、雑貨店などを結ぶ街歩きのイベントを民間企業と地元商店街及び参加店の協力により開催し、円山エリア全体の活性化を行う。動物園の来客と円山エリアの各店舗への来客を相互に送りあい、その情報をブログを通じて口コミで広げることにより集客の相乗効果を狙う。(スタンプラリーイベントとブログマーケティングの融合)

イベント名「円山歩記(まるやまあるき)」

第1回開催 2007年(平成19年)6月18日～9月18日

参加店舗数 15店舗(レストラン、カフェ、スイーツ、雑貨店等)

【共催】 円山動物園、札幌100マイル(札幌の 口コミ ブログ サイト)

## スケジュール

第1回 19年度実施済

今後も継続予定

## 参考図表等

## &lt;企画内容&gt;

- ・ブログサイト「札幌100マイル」にブログを作成(<http://sapporo.100miles.jp/>)
  - ・スタンプカードを持って参加店及び円山動物園を回ると特典あり(ドリンクサービス等)
  - ・感想をブログに書くとプレゼントに応募できる
  - ・3か所回るとプレゼント当選確率アップ
  - ・プレゼントは動物園年間パスポートやお食事券等
- ※主に円山動物園内での体験イベント「みんなのドキドキ体験」のPRを狙いとした。

<http://sapporo.100miles.jp/editors/article/50/>

※「札幌100マイル」は飼育員ブログを連載しているサイト



項目名	役割	行動指針	実施時期
地元地域への感謝イベントの実施	-	3	19年度

## 概要

円山動物園の再生には地元である地域の理解と協力が欠かせないため、日頃の感謝をこめて「円山地区」「南円山地区」「宮の森地区」の住民を対象に無料入園券を配布し、園内で園長の特別講演を開催する。

## イベント名「地元感謝デー」

第1回 2007年(平成19年)10月6日～8日

特別講演「円山動物園の歴史とこれから」札幌市円山動物園長 金澤信治

## スケジュール

19年度実施済

今後継続開催予定

## 参考図表等

## &lt;19年度実績&gt;

円山地区 126人  
南円山地区 72人  
宮の森地区 144人  
(合計 342人参加)

## &lt;園長からのメッセージ&gt;

日頃より地元の円山動物園の運営にご理解ご協力いただきありがとうございます。

円山動物園は今年3月に基本構想を策定し、現在、環境教育の場、家族との思い出をつくる場として再生に向けた努力をしているところです。そのためには、これからも地元の皆さんと一緒に地域ぐるみでまちづくりや活性化に取り組んでいきたいと考えています。

項目名	役割	行動指針	実施時期
大倉山シャンツェ・彫刻美術館との連携	-	3	18年度

概要

円山動物園・大倉山シャンツェ・彫刻美術館はいずれも市民の教育文化施設、観光施設であり、非常に地理的にも近いことから、これら3施設が連携し一体となって集客を行うため、「3園館長会議」を設置しその方策を検討する。

<連携内容>

- ・3施設をつなぐウォーキングコース、循環バスの検討
- ・イベントでの協力、相互PR、相互展示 など


スケジュール

19年1月 札幌の地域サイト「Webシティさっぽろ」の呼びかけにより3園館長会議スタート  
その後、定期的に会議を開催。随時実現予定。

参考図表等

**Webシティさっぽろ** さっぽろの未来を創る 札幌市観光局 観光課 観光推進課

■ シャンツェ、美術館、動物園のトップ会議 3園館長の呼びかけで実現したい



7月に発足のさっぽろさくらと連携  
はしているが、親睦を深げたい  
と、もって、先陣を切りたい  
ないため、札幌ウイングスボー  
ンツェ・ゾラム館長が呼びかけ  
をした。



自然や環境や、札幌の文化や  
観光交流、市民に向けて発信を  
していくなど、子どもに親しみ  
やすい場所をぜひ欲しいと、  
3園館長が呼びかけ、札幌市  
民の利便性を高める。



円山動物園の再スタートと、この  
分野の親睦を深げたいという  
声など、3園館長の声、3園との  
連携などを通じて一体となって  
活動し、市民の利便性を高める  
のが目的である。



項目名	役割	行動指針	実施時期
エリア周遊イベントへの積極的な参画	-	3	18年度

## 概要

札幌市内を周遊する街歩きイベントや旅行商品に積極的に参画することにより、円山動物園の露出を高め集客に結びつけるとともに、円山エリア内の集客に貢献する。

## ＜これまでの参画実績＞

- ・札幌まちめぐりバス(観光旅行商品、17年度～)  
観光スポット20か所で使えるポイント券、クイズラリー
- ・さっぽろタパス(街歩きイベント、19年度～)  
市内79店舗と観光施設で使えるチケット、来園プレゼント
- ・さっぽろヒルズバス(周遊イベント、19年度～)  
藻岩山、大倉山、円山の各施設を周遊するバスと施設利用券

## スケジュール

随時実施

## 参考図表等

